

やってみようスクエアダンス指導

子ども達にスクエアダンスを教えて見ませんか。

TAIKENプログラムの内容を8時間で中学生に指導した学習指導案を帯広市のダンディライオンズウィンガーズ 西中ますみさんに提供いただきました。

この指導案を参考にして学校や放課後クラブ、公民館活動などで子ども達にスクエアダンスを教えて見ましょう。

内容は子どもたちの実態に合わせて自由に変更しても結構です。指導時間もより少ない時間で踊れるようになるかもしれません。

指導の結果、お気づきになった点があれば学校・ジュニア普及小委員会あてにお知らせください。学習指導案の改善に役立てたいと思います。

<学校・ジュニア普及小委員会>

中学校第◎学年 スクエアダンス学習指導案

日 時：20〇〇年 〇月〇〇日（曜日）第 校時
場 所： 中学校 室
生 徒：第 学年 組 計 名
授業者： 、

1. 題材名 「スクエアダンスを踊ろう」

2. 題材について（教材観）

本題材は学習指導要領における体育分野、G ダンスの領域にあたる。この領域では以下の内容が求められる。

- (1) 自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができるようにすること（ア 創作ダンス、イ フォークダンス、ウ 現代的なリズムのダンス）
- (2) 互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにすること
- (3) グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。

今回扱うスクエアダンスには、

- ・男女ペアで踊るフォークダンスの一種を体験し、8人で同じ動きをしたり、掛け声をかけたりして楽しい雰囲気を作り出すことができる。（1）の要素
- ・8人のチームワークで踊るスクエアダンスは、自分だけ理解できていてもグループみんなで踊り切ることにはできないので、自ずと協力的に動く場面や助け合う場面が作り出される教材である。（2）（3）の要素
- ・拍子と曲の速度を選べば、様々な曲想の音楽を使うことができる。多様な曲をダンスを通して体感させ楽しませることができる。（1）の要素

発達段階の特徴上、男女の組み合わせに生徒が照れを感じたりして手を繋がない場面等も観られることが考えられるが、今回は「楽しむ」ことを念頭に置き取り組み、学習の過程で互いを助け合うことを学び、最終的には全員がダンスを通して人とのつながりを感じ合う機会にしたい。

3. 題材の目標・評価規準

（1）目標

①【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】

- ・ダンスに積極的に取り組むことができる。
- ・誰とでも仲良く踊ることができる。
- ・自分の役割を果たそうとすることができる。
- ・主体的に健康・安全に気を配ることができる。

②【運動や健康・安全についての思考・判断】

- ・相手の動きに合わせて自分の動きを同調させたり、協力してスクエアダンスを踊ったりすることができる。
- ・お互いの良さを認め合い、助け合うことができる。

③【運動の技能】

- ・他者と協力しながら、リズム良く体を動かすことができる。

④【運動や健康・安全についての知識・理解】

- ・各フィギュアの動きと言葉を知り、動きを理解することができる。
- ・セットの中での自分の役割（男性役・女性役・ヘッドサイドの動き）を果たすことができる。

(2) 評価規準

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全についての知識・理解
① スクエアダンスに積極的に取り組むことができる。 ② 誰とでも仲良く踊ることができる。 ③ 自分の役割を果たすことができる。 ④ 主体的に健康・安全に気を配ることができる。	① 無理な動きで相手を動かすことなく、協力してスクエアダンスを踊ることができる。 ② お互いの良さを認め合い、助け合うことができる。	① 他者と協力しながら、リズム良く動くことができる。	① 各フィギュアの動きと言葉を知り、動きを理解することができる。 ② セットの中での自分の役割（男性役・女性役・ヘッドサイドの動き）を果たすことができる。

4. 題材の指導計画（9時間）

時数	学 習 内 容	備 考
1	スクエアダンス紹介の動画を見る。 ●動画を見て、スクエアダンスがどのようなものかを知る。 ●パートナー、ボーイズ、ガールズ、ヘッド、サイド、などの用語を知り、自分が果たす役割を知る。	動画を見て楽しい雰囲気を感じさせ、やってみたいという意欲を起こさせる。
1 本時 (2)	前時の役割の確認。 セットをつくり、動きを学んでいく。 ●スクエアダンスの用語を知る。 ●用語と動きを確認し、そのフィギュアで動くことができる。 ・ circle left/right ・ Forward and back ・ Dosado ・ Couples promenade ・ Allemande left ・ Right and left grand ・ Pass thru	・素早くパートナーを決めるため、また、誰とでもパートナーを組む意識をつけるため、カードを用いてパートナーを決める ・5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する)
1 (3)	前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。 ●前時の動きを使って踊る。 ●新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ Allemande right ・ Left hand star / right hand star	・カードでパートナーを決める ・5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する)
1 (4)	前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。 ●前時の動きを使って踊る。 ●新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ California twirl	・カードでパートナーを決める ・5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Half sashay ・ u-turn back ● Singing を踊ってみる (パートナーは変わらない) 	う。(教師が指示する)
1 (5)	<p>前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の動きを使って踊る。 ● 新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ Star thru ・ Right and left thru ● Singing を踊ってみる (パートナーは変わらない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードでパートナーを決める ・ 5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する) ・ 動作の終わった後、自分の向きが、90度や180度変わることを意識させる。
1 (6)	<p>前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の動きを使って踊る。 ● 新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ Grand square ・ Swing ・ Single file promenade (インディアンスタイルも試す) ● Singing を踊ってみる (パートナーは変わらない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードでパートナーを決める。 ・ 5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する) ・ Grand square は4呼間で向きを変えるよう指示する。 ・ Singing を入れる
1 (7)	<p>前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の動きを使って踊る。 ● 新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ Dive thru ● Singing を踊ってみる (パートナーが変わっていく) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードでパートナーを決める ・ 5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する)
1 (8)	<p>前時の動きを確認、新しいフィギュアを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の動きを使って踊る。 ● 新しいフィギュアを入れたダンスを踊る。 ・ Lead right ・ Veer left ・ Bend the line ● Singing を踊ってみる (パートナーが変わっていく) ● 全体を通して、Hash,Singing で1チップ通して踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードでパートナーを決める ・ 5分以下のチップとし、必ずペア替えを行う。(教師が指示する)

●生徒の活動、()の中はその時間までの総時数

5. 生徒の反応から予想されること

中学生は成長段階として、異性を意識し、つい相手を邪険に扱ってしまったり、手を素直につなげない時期である。スクエアダンスは男女ペアとなり踊るダンスのため、なかなか手をつなげない場面等も予想される。だが、学習が進むにつれて、手を繋いでいないとすぐに行動できない内容も出てくる。そのため、最初は手を繋がないことをあまり強く指導せず、スクエアダンスの音楽を楽しみ、リズムを体でとることや、チームで動きを合わせていくことを重視したい。

ただ、誰か特定の人に対しての人権に関わるような態度等は強い指導を行うべきと考える。しかし、どうしても相性が合わない生徒もいる。その場合は、できるだけすぐにセット替えを行うことで、解消したい。

同様に、一つのフィギュアを習得することにあまり時間をかけすぎないことも気をつけたい。「これ

ができるまでやめない」ことに拘りすぎると、スクエアダンスが楽しくなってしまうことが往々にして起こりうるからである。セットを変えてみると、意外とすんなり行くことも多いので、コーラーとしてのこだわりを生徒に押しつけることがないように、気をつけたい。

また、欠席した生徒のフォローは、生徒の力も借りて、できるだけ短時間にスムーズに行いたい。生徒同士が教え合うことで、自分自身が動きの確認ができる上、チームワークが向上すると考えられる。

7. 本時の指導計画（2／8）

（1） 本時の目標

- ①ダンスに積極的に取り組むことができる。
- ②誰とでも仲良く踊ることができる。
- ③主体的に健康・安全に気を配ることができる。
(運動や健康・安全への関心・意欲・態度)
- ④相手の動きに合わせて同調した動きをし、協力してスクエアダンスを踊ることができる。
- ⑤お互いの良さを認め合い、助け合うことができる。
(運動や健康・安全についての思考・判断)
- ⑥他者と協力しながら、リズム良く動くことができる
(運動の能力)
- ⑦各フィギュアの動きと言葉を知り、動きを理解することができる。
(運動や健康・安全についての知識・理解)

（2） 本時の展開

(○・・・発問 △・・・補助発問 □・・・指示、説明)

過程	主な学習活動・内容	教師の働きかけ	・留意点 *評価方法 ◆Cの生徒への手だて
導入 (3分)	1. 数字のクジでパートナーを決める。	○1組（一番数字の小さい） ペアは私に背中を向けます。 2組（2番目に数字の小さい） ペアは1組ペアの右側へ。 3組（3番目に数字の小さい） ペアは1組のお向かいにいきます。 4組（一番数字の大きい） ペアは1組の左側へ。 この基本の形をスクエアセットというのでしたね。 □ではスクエアセット。	・全員で協力してセットをつくる。 ・誰かと組むときに嫌な顔、嬉しい顔をしないように最初に指示。 ・セットがあまり大きくなりすぎないように指示。
展開 (40分)	2. フィギュアの復習、習得に取り組む	□では曲をかけます。前回の復習からやりましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">～コール～ Circle left、 Circle right forward and back!</div>	・テンポの取りやすい、乗りやすい曲を選曲する。 Boys only forward & back Girls only forward &

<p>新しい動きを覚えましょう。～Dosado</p> <p>セットを変えて、復習、次の動作を覚える</p>	<p>Face your partner パートナーと向き合います。Dosado、と言われたら3歩で右肩すれ違い、4歩目はそのままの向きで互いに右へ移動左肩ですれ違ってバックして元の位置へ。これがDosadoです。 (最初はもっと簡単に説明し、伝わりにくい場合は補助説明を入れる。) では音楽をかけてやってみましょう。</p> <p>□ではペアを変えます。1組、2組は隣のセットへ。女子は其中で、反時計回りに一つ回りましょう。 スクエアセット！ 音楽をかけて復習しながら踊ってみましょう。</p> <p>曲をかけて既習事項を全て使い、コール。</p>	<p>back など、タイミングに変化をつけたり、前進後退する生徒を指定したりして、生徒の注意力を聴くことに集中させる。 評価①②⑥*目視 ◆タイミングをみて、少し待ってあげたりして全員ができるようにする。</p> <p>Partner, corner Heads, Sidesと色々組み合わせを変えてやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐにペアを組み、ゲームを開始できる状態にしているか ・あくまで音楽にのったコールをすることで、説明しなくとも生徒がリズムを取りやすいようにする。 <p>1曲目とは雰囲気を変えたものを使う。</p>
		<p>新しい動作を覚えましょう。～Promenade</p> <p>□女性は男性の右側に同じ向きを向いて並びます。男性は手のひらを上向きに前へ出し、女性は掌を下にして右は右、左は左で男性の掌の上に載せます 男性は左肩をセットの中心に寄せてみましょう。そのままぐるっと時計と反対回りで歩きます。これがPromenadeです。</p>

	<p>～その他の動作～</p> <p>Allemande left コーナーと向き合って、左手同士をとります。そのまぐるっと回って、またパートナーさんと向き合しましょう。</p> <p>パートナーさんと Dosado, コーナーさんと Allemande left . . .</p> <p>Right and left grand, Grand right and left Allemande left corner, パートナーと右手を取って、通り過ぎます。次の人と左手、次の人と右手 . . . パートナーさんと会ったら Promenade でおうちに帰りましょう。</p> <p>Pass thru 前の人と右肩ですれ違い通り過ぎましょう</p>		
<p>確認 (5分)</p>	<p>4. 最後にまた新しいセットでこの日にならったコマンドを使ったダンスをする。</p> <p>5. 本時を振り返り、次回の確認をすることができる。</p> <div data-bbox="389 1594 730 1805" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一つ一つが書かれたカードを見せて、スペルと発音を目と耳で確認する。ダンス中はそれに気を取られるので見せない。</p> </div>	<p>□では今日習ったことを通して踊ってみましょう。 テンポの早い曲でやってみましょう！ このテンポについてこられるかな？ただし、人の手を無理矢理引っ張ったりしないでくださいね！このダンスはセットの人たちの息を合わせることが大切です。 (終わったら) 素晴らしい！皆さん、踊れましたね！拍手！</p> <p>では、最初の整列隊形に戻って下さい。</p> <p>□今日は7つの言葉と、動きをしてみました。随分と皆さんリズム良く動けていましたね。 では復唱してください。 今回覚えたのは</p> <ul style="list-style-type: none"> • circle left/right • Forward and back • Dosado • Couples promenade • Allemande left • Right and left grand • Pass thru <p>でした。 次回はこのコマンドの復習と新しいコマンドを覚えましょう。</p>	<p>• 生徒が知っているような曲で、テンポが速めの曲を選曲。盛り上がるように声色を気をつける。</p> <p>評価①～⑦ 目視 ◆助けてくれる周囲の生徒を盛り上げ、なんとかセットで踊りきることができるようにコールする。</p> <p>• 顔を上げて話しを聞いているか • 復唱できているか</p> <p>評価①、⑦</p>

(3) 本時の評価

①ダンスに積極的に取り組むことができる。

②誰とでも仲良く踊ることができる。

③主体的に健康・安全に気を配ることができる。

(運動や健康・安全への関心・意欲・態度)

④相手の動きに合わせて同調した動きをし、協力してスクエアダンスを踊ることができる。

⑤お互いの良さを認め合い、助け合うことができる。

(運動や健康・安全についての思考・判断)

⑥他者と協力しながら、リズム良く動くことができる

(運動の能力)

⑦各フィギュアの動きと言葉を知り、動きを理解することができる。

(運動や健康・安全についての知識・理解)